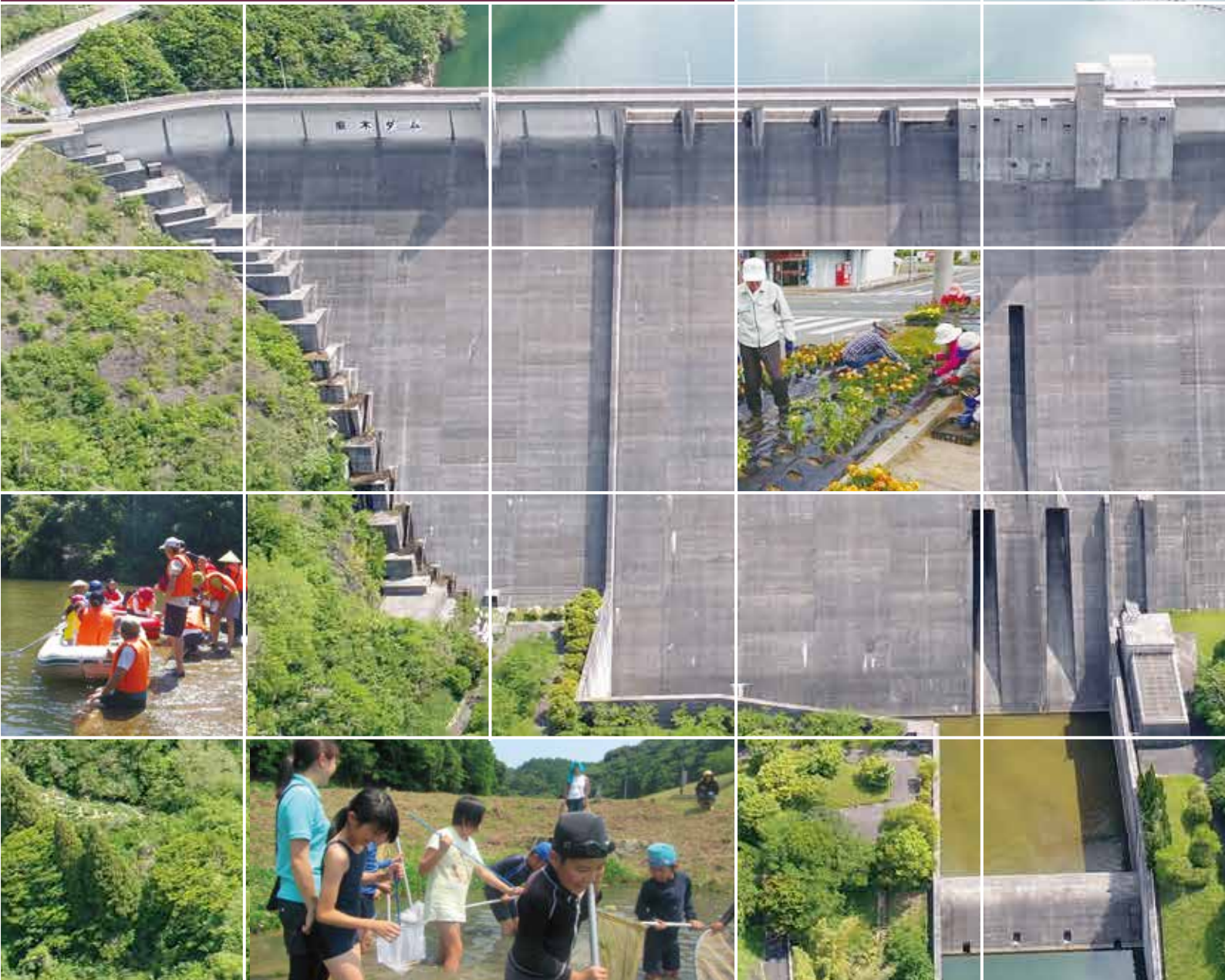




令和元年度 実施事業

公益目的事業報告書



厳木ダム (写真提供: 国土交通省 武雄河川事務所 厳木ダム管理支所)

令和2年4月



一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association

笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会(前身は社団法人九州建設弘済会以下、当協会という)は、昭和40年の設立以来55年にわたり、河川や道路を舞台に各地域の市民団体が行うボランティア活動に対する支援等、地域活性化支援や社会資本整備に係わる広報活動のための事業に幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組む等、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、特殊土壌などの地質条件や地理的条件等に加え、地球環境の変化等により頻発する九州地方の大災害に対し、防災活動への支援や被災地への

支援等にも積極的に取り組んでいるところで。

平成25年4月一般社団法人へ移行するにあたり、内閣府に「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、公益目的財産額の確定を内閣総理大臣より通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しました。

「公益目的支出計画」は、平成24年度までに実施してきた公益事業(収益を伴わない公益事業)を4つの継続事業として策定し、あらためて社会貢献を続けています。

本報告書には、令和元年度に実施した公益目的事業について掲載し、安心・安全な地域づくりや環境美化に活躍されている方々の活動をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和2年4月



●公益目的事業の募集及び運営について

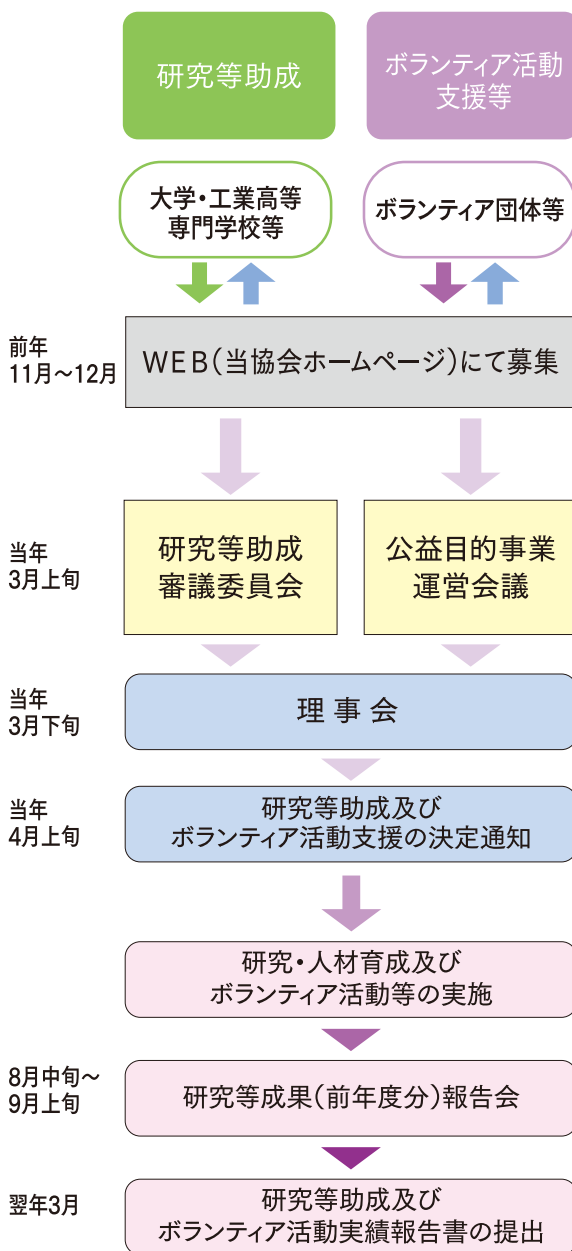
当協会は設立以来、今日までの55年にわたり、公益目的事業として、①社会資本整備に関する広報活動事業、②建設事業の推進及び普及のための調査研究事業、③地域活性化等支援事業、④防災活動等支援事業の4事業を継続実施しています。

平成25年4月1日の一般社団法人への移行に伴い、研究等助成については、新たに研究等助成審議委員会を設け、広く外部等の方々の意見を反映した手続きを行うとともに、ボランティア活動支援等については、公益目的事業運営会議による運営を行っています。

令和2年度分の募集より、研究等助成及びボランティア活動支援等の手続きについては、十分な実施期間を確保する観点から、右図のとおり、募集から決定通知までの時期を早めるなどの変更を行っています。



公益目的事業研究等助成審議委員会状況



公益目的事業について

実施額合計：74.9(百万円)

1

社会資本整備に関する 広報活動事業

【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交通行政、社会資本整備に関する広報・啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。

実施額：12.2(百万円)



p5 広報活動等事業

- 「国土交通Day」 ●「川の日」
- 交通事故防止キャンペーン
- 海の中道「フラワーピクニック」、「土木の日」他

p9 九州建設資料館運営事業

- 贈与図書等の整理 ●検索システム更新等

p10 講習会等事業

- 九州地域づくり協会主催によるセミナー等

2

建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への支援を行います。

実施額：27.4(百万円)



調査研究事業

- p11 ①土木遺産調査研究
- p13 ②九州地域の社会資本整備の歴史
- p14 ③九州災害履歴調査研究

研究等助成事業

- p15 ①大学等への研究助成事業
- p18 ②人材育成に関する助成事業

3

地域活性化等 支援事業

【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を図ることを目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。

実施額：16.7(百万円)



地域活性化等支援事業

- p19 ①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業
- p20 ②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業
- p22 ③河川・道路等の愛護活動支援事業
- p24 ④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

4

防災活動等 支援事業

【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動に対して支援をします。

実施額：18.6(百万円)



防災活動等支援事業

- p25 九州防災エキスパート会活動支援事業
- p27 災害ボランティア活動等支援事業

1

社会資本整備に関する 広報活動事業

広報活動等事業

●全国行事

令和元年度「国土交通Day」/
令和元年7月16日



フォトコンテスト(国土交通Day)

令和元年度「川の日」/令和元年7月7日



出典:日本水大賞のHPより



出典:いい川・いい川づくり
実行委員会HPより

●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



公益目的事業報告書



研究助成成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けたフォーラムやイベントによる地域活性化・啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」、「川の日」等へ協賛するとともに、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈しています。

また、当協会が支援している河川、道路、地域づくり等に関する「公益目的事業報告書」及び「研究助成成果報告書」を公表しています。

更に、地域住民へ河川、道路、地域づくりなどの理

解を深める啓発活動(広報・学習活動等)やNPO等の市民団体に対して支援するため、WEBサイトで一般公募し、令和元年度は19団体の事業に対して支援を行いました。

その他、国の機関、県、大学及び民間企業の団体等で組織された「土木の日」では、土木の仕事や役割、防災の重要性等をPRするとともに、「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」、「I LOVE遠賀川活動事業」及び九州各地で道の清掃、美化等の「道守会議」の活動も報告されています。

● 広報活動事業の一部を紹介

海の中道 「フラワーピクニック2019」

海の中道フラワーピクニック実行委員会

事業の内容

- 花修景・展示花壇
 - うみなかフラワーガーデンコンテスト
 - 平成から新時代へつなぐ特別イベント
 - 花とふれあいを楽しむイベント
 - 地域交流イベント 等

事業の効果

- 事業期間中の入園者数は目標人数を超え過去最高になった。これは、さまざまなイベントの実施や広報に取り組んだ効果の表れと考える。



宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

事業の内容

- 小学生を対象とした土木に関するミニ講義及び日南ダムと酒谷発電所の現場見学会を開催
- 宮崎県内11地区の小学校において、「土木の日」PR活動を実施
- 土木の日パネル展をイオンモール宮崎にて開催

事業の効果

- 「土木の日」PR活動を通して、土木の役割や仕事、防災に対して広く市民に理解していただいた。



道守九州会議 交流会 「みちづくし in 佐世保2019」

特定非営利活動法人 道守長崎

事業の内容

- 道守九州会議 交流会、交流集会を開催
 - 基調講演
 - 活動事例紹介
 - パブリックミーティング
- 現地体験学習の実施
 - コース①:海軍さんの港コース
 - コース②:日本遺産めぐりコース

事業の効果

- 本事業に参加することで、各地の活動に刺激を受け、好事例などを地元へ持ち帰り、それぞれの道守活動の活性化が促進された。



道守体験事業

道守佐賀会議

事業の内容

- 「道守九州会議交流会」への参加
- 道守体験事業
 - 道の日清掃、佐賀城下ひな祭りおもてなし清掃等を企画、立案し実施

事業の効果

- 「道守体験事業」を通じ、地域の方と各地域で活動する道守さんと一緒に美化活動を行い、ボランティアの精神を育み、道路愛護、普及促進へ効果があった。



インフラメンテナンス 国民会議 九州フォーラム

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

事業の内容

- インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム開催
 - 基調講演「シーズとニーズを繋ぐ取り組み」
 - ピッチイベント テーマ:1.2.3
 - グループ討議

事業の効果

- 当事業により、九州外におけるニーズとシーズの取り組み状況を把握することができ、また自治体の抱える課題、ニーズに対しグループ討議を実施することで、ニーズとシーズの摺り合わせ及び課題を共有化できた。



I LOVE 遠賀川活動

NPO法人 遠賀川流域住民の会

事業の内容

- 芦屋・若松海岸クリーンキャンペーン実施
 - 海岸を5班編成に分けて清掃活動
 - 海岸漂着物の調査
 - 活動の発表(ホームページ、フェイスブック、遠賀川流域だより)

事業の効果

- この事業に参加することで、各参加団体の環境意識が高まった。
- 今回は海洋プラスチックごみが国内外で問題になっていることから漂着物の調査を行い、プラスチックごみが環境に重大な影響を及ぼすことを周知できた。



ハイウェイネットワーク2019

神話トライネット

事業の内容

- ボランティアチャリティバザー(くまもと市民ボランティア週間事業内)開催
- 九州中央自動車道の重要性を訴え、署名活動を行い、トートバック等を配布

事業の効果

- 署名活動を行うことで、九州自動車道の必要性を市民の皆さまと共有し、建設促進運動の気運を高めることができた。



平成31年度 「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部

事業の内容

- 夢アイデア募集事業
- 夢アイデア交流事業
- 夢アイデア人材育成事業
- 夢アイデア実現化事業

事業の効果

- 夢アイデア交流会では、一般来場者や建コン協会会員たちとのポスターセッションを通して、夢アイデア提案者へ提案の実現に向けたフォローアップが行えた。また、交流会を通して、まちづくりに関する夢やアイデアを語り合うことができた。



橋と川への関心を高める活動を実践

毎年8月4日、宮崎発祥の「橋の日」記念日に合わせ、「橋の日」の啓発活動をはじめ、橋磨き、点字ブロックの清掃、「親子で橋の点検体験見学会」や写真展などを開催。また九州各県を巡る「地域のお宝再発見ツアー」を実施し、各地の「橋の日」関係者と積極的に交流。現在、全国47都道府県に広がった「橋の日」活動の情報・資料提供、地域づくりシンポジウムやサミットの開催などを通じ、橋と川への関心を高める活動を行っています。

また約360年前、宮崎沿岸に甚大な被害を与えた日向灘地震「とんころ大地震」の絵本を発行。今年度は県内の全小学校へ寄贈のほりばたの予定です。協会からの支援は「橋の日」の幟旗や広報資料の作成費用などに活用しています。



絵本の表紙



宮崎「橋の日」実行委員会
会長 大田原 宣治氏

九州建設資料館運営事業

当協会が収集及び寄贈を受けた公共事業に関する関係図書を分類・整理し、分野別等の登録を行い、図書検索システム等による一般公開を行っています(約9,300冊)。

九州に密着した技術資料を提供し、土木技術の伝承、人材育成等に寄与しています。

令和元年度は、数名の方から多くの蔵書を寄贈頂きました。

今後も、皆様からの寄贈を含めた収蔵図書等の充実を図り、広く利活用いただけるように整理・検索システムの充実・改善を進めて参ります。

●収蔵図書等の内容

収蔵資料は、主に技術図書関連で、水害の記録、各種工事報告書などです。

収蔵図書等は、共通、河川、道路、トンネル、橋梁、環境等に分類整理して、当協会本部、支所の「図書検索システム」により確認できますのでご利用ください。

●「九州建設資料館」の利用

所在地 福岡県福津市中央6丁目3-30
(一社)九州地域づくり協会
福岡支所1階(受付1階)

開館時間 9:00~16:00
(土・日・祝日休館及び臨時休館有り)

問合せ (一社)九州地域づくり協会
企画部 情報管理室
TEL.092-481-3781
(一社)九州地域づくり協会 福岡支所
TEL.0940-35-8161



交通のご案内

- 博多駅より福間駅までJR利用で約30分
- 福間駅より資料館まで徒歩約5分

九州建設資料館資料寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ上記問合せ先にお電話をいただけたら幸いです。

講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会等の開催や他団体の講演等へ支援を行っており、

令和元年度は以下2件の講演(習)会を主催致しました。

第6回 地域づくり政策セミナー

- 第6回地域づくり政策セミナー「命と暮らしを守る九州のインフラ」は、令和元年11月27日(水)、(公社)土木学会建設マネジメント委員会との共催で、約300名の参加者により開催致しました。
- 本セミナーでは、昨今の気象変化と災害履歴に沿いながら、災害リスクに備える今後の社会資本整備とそれを支える人材育成のあり方等を模索するため、様々な分野の方々に多面的な知見をご紹介頂きました。
- まず土木学会の活動報告に始まり、基調講演では、災害リスクからみた九州の社会資本整備について、



(左から)西畑賢夫氏、小松利光氏、松井渉氏、羽田野和久氏、釜瀬明日香氏、塚原健一氏、松本直也氏、堂園俊多氏

続く事例報告では、気象予報士、高速道路の維持管理及び女性技術者の各立場から、そしてパネルディスカッションでは、『災害リスクに対するインフラ整備と人づくり』について、【ハード】九州の防災とインフラ整備、【ソフト】建設現場における人づくりの切り口により、重要な示唆を頂きました。



〈主催挨拶〉
田中理事長

<①活動報告、②基調講演、③事例報告、④パネルディスカッション登壇者>



九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

- 日時:令和元年12月21日(土)
13:00~17:00【開場:12:30~】
- 会場:サンプラザ天文館 6階ホール
(鹿児島県鹿児島市東千石町2-30)
- 【目的】

近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していることから、日頃からの維持管理の重要性が高まるとともに、高度経済成長期に造られた多くの構造物が老朽化し、今後、耐用年数を迎えます。このため、今回、河川管理に携わる技術者の技術力向上を目的とした講習会を開催しました。

【講演内容】

- 1)「自然が多様で豊かな河川管理について その2」 宮崎大学名誉教授 杉尾 哲 氏
- 2)「河道の維持管理について」 国土技術政策総合研究所 河川研究室長 福島 雅紀 氏
- 3)「今後の九州地域における河川維持管理について」 国土交通省九州地方整備局河川部 河川保全管理官 荒木 和幸 氏



意見交換会の様子

2

建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

調査研究事業

①土木遺産調査研究

調査研究事業

本事業は、若い土木技術者達をはじめとした関係者が土木の仕事に誇りを持ち、土木への志を奮い起こさせ、土木技術の啓発・継承や継続的な人材育成に役立てるための調査研究です。

先人達が時代の技術や知恵を集結し、次世代のために築造させた歴史的な土木施設に光を当て、地域の貴重な土木遺産[252施設(群)]として、観光、地域振興に活用することを目的に、平成17年度より当協会W

EBサイト「土木遺産in九州」を一般公開してきました。

特に、当サイト内のシリーズ「土木遺産紀行」については、これまでも、地方紙や観光ガイドブック、出版図書等において幅広く活用されています(下図)。

平成30年度以降は、これらの土木遺産の更新及びインフラカードの増刷を行うとともに、令和元年度においては、土木遺産の価値観を広める以下の試みを2つ手掛けました。

●出版図書等への活用例

○出版図書への掲載 ※土木技術 Vol.72 No.11(九州の土木遺産紀行)土木技術社より

土木遺産は地域資源として評価されるものもあるため、今回13箇所について、「教会と橋の道を往く」、「筑後路を往く」、「近代産業の轍」のテーマにより、旅物語風に紹介しました。



関門国道トンネル
(山口県下関市～福岡県北九州市)



筑後川昇開橋
(福岡県大川市～佐賀県佐賀市)



眼鏡橋
(長崎県長崎市)

○ホームページへの利用

※(一社)Plenus米食文化研究所ホームページ(米ライブラリー)より



「大搦(おおがらみ)堤防」(佐賀市東与賀町)

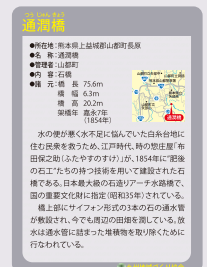
出典:土木遺産in九州(一社)九州地域づくり協会
<http://dobokuisan.qscpuua2.com/>
※明治前期の有明海沿岸の干拓堤防としては最大規模

●インフラカード

インフラ(河川、道路、橋、港など)を身近に触れ、その役割を理解して頂く簡易な広報パンフとして配布するカード。



(表)



(裏)

作成カード

・通潤橋 ・二俣渡、二俣福良渡 ・霊台橋

1) 土木遺産のフォローアップ(つなぐ試み)

今回、「長崎・中島川の橋めぐり」の冊子づくり
に着手しました。

この冊子作成にあたっては、長崎大学岡林名
誉教授の知見をもとに、江戸時代から昭和までの
長崎のまちづくりを物語る「中島川の橋の歴史」に
ついて、語り部(坂本龍馬)を通し
てわかり易く紐解く構成で仕上げ
ています。

これに先立ち、「長崎県道の語
り部講座 ～長崎市の橋の歴史に
ついて～ 」（令和2年1月24日:
長崎市）では、講師の長崎大学岡
林名誉教授より、江戸時代から戦
前までの400年間の橋の歴史について、街の繁
栄等を踏まえながら、橋梁材料の変化(石⇒木⇒
鉄⇒鉄筋コンクリート)やその構造等についてご
教授頂きました。



長崎大学岡林名誉教授の講義状況

2) 土木遺産関連の拡大調査

蓄積された土木遺産を地域資源として捉え、土
木遺産のファンづくりひいては地方創生の取組に
つなげていく試みとして、令和元年度より概ね3年
間をかけ、土木遺産の活用拡大策の検討に着手
しました。

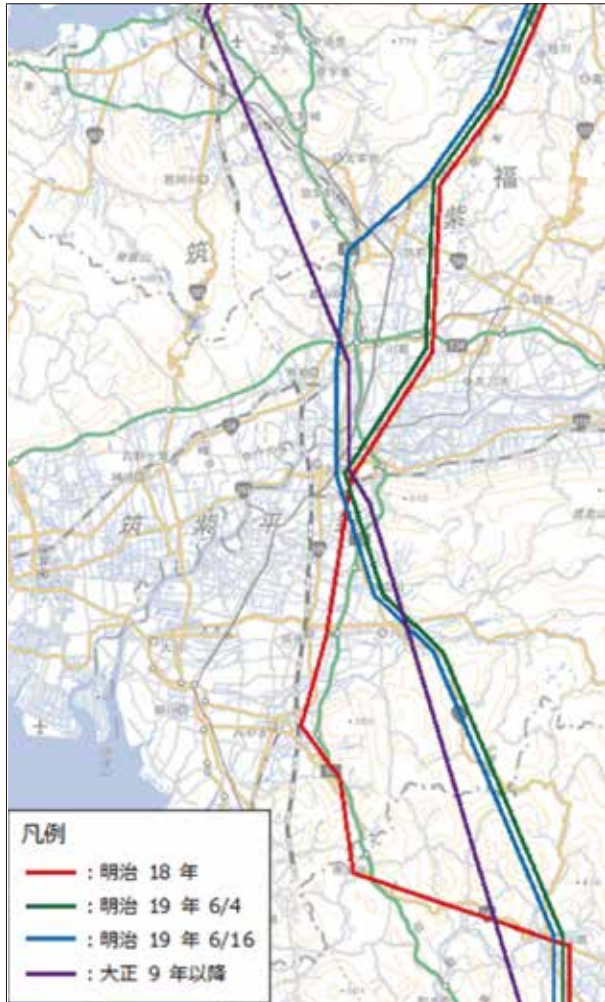
具体的には、点在する土木遺産が在する流域
や地域を対象に、直轄編入前の河川とその施設
(放水路等)、道路の変遷等を時間軸の中で捉え
るとともに、その沿線の観光、温泉などの地域固有
資源(ソフト・ハード)との多様な連携についても
検討する予定です。

令和元年度は、筑後川中流域(朝倉市等)及び
福岡県内の国道3号(薩摩街道)を対象に文献
調査等の事前調査を実施しました。



テレビ会議による検討委員会(準備会)の状況

国道3号(薩摩街道)の変遷



②九州地域の社会資本整備の歴史

調査研究事業

本事業は、土木遺産の中から主要なものを選び、建設に携わった先人達にスポットを当てた取り組みです。これまでの技術的な観点だけでなく、これらの施設に長年かかわってきた担当技術者等の努力、地域の方々の協力等により成し遂げられた実現のドラマを新土木遺産「プロジェクト・九州」として取りまとめ、平成23年6月の第一巻発刊から、平成30年7月の第八巻まで概ね毎年度発刊致しました。

今回、令和元年11月発刊の第九巻「原点一全ては除災招福のために」では、平成29年7月の九州北部豪雨より国土強靱化を問うとともに、地域を拓く道としての「九州5道」や土木技術者の献身、古代の水城築堤、長崎街道などの古道の話などを収めた「プロジェクト九州」の完結巻となっています。

なお、今まで発刊した第一巻から第九巻は、九州各県・政令都市の土木部局や図書館、九州内の大学、工業高等専門学校へ寄贈を行っています。

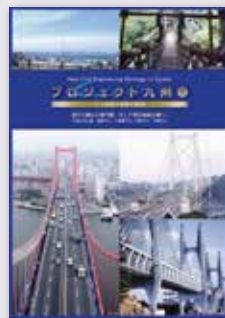
●冊子プロジェクト九州



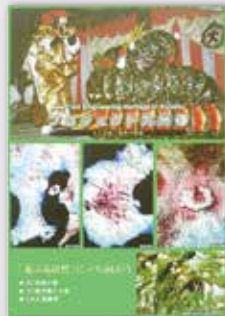
第一巻



第二巻



第三巻



第四巻



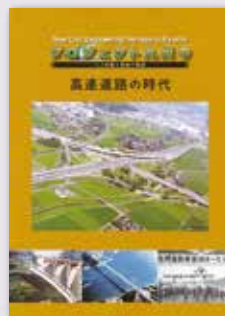
第五巻



第六巻



第七巻



第八巻



第九巻

冊子プロジェクト九州 第九巻より抜粋



人家を襲った流木(右が大分道)福岡県・朝倉市、平成29年7月



洪水と流木は道路を破壊した(東峰村)



東九州道と宮崎道のJCT(清武JCT)

九州地方は、大規模かつ多様な災害から教訓を得て、様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、災害情報WEBサイト「九州災害履歴情報データベース」として引き続き公開しています。

◆災害履歴の補完調査

公開中の災害履歴調査には、特筆すべき地震、津波等に係る詳細な記述の一方で、風水害については、被害が顕著な県を中心とした災害履歴を整理した内容に留めていました。

加えて、「平成29年7月の九州北部豪雨災害」、「令和元年8月の前線に伴う大雨」、更には、近年、全国各所において頻発する広域かつ激甚な洪水、東九州における「東南海トラフ地震」への脅威が懸念されています。

このため、地域防災への備えを再認識して頂くために、令和元年度より概ね3年間をかけ、各県の災害履歴から先人の知恵や伝承記録等を踏まえた補完調査を実施しています。

初年度(令和元年度)においては、昭和28年以前、平成30年度及び令和元年度における風水害履歴等の補完とともに、試行区域(福岡県全域)における予備調査(関連資料の収集整理)及び年度毎の検討事項を整理しました。

令和2年度以降は、災害履歴情報を活用した市民意識の啓発、防災まちづくり事例、地域防災活動事例等について調査・整理し、災害履歴情

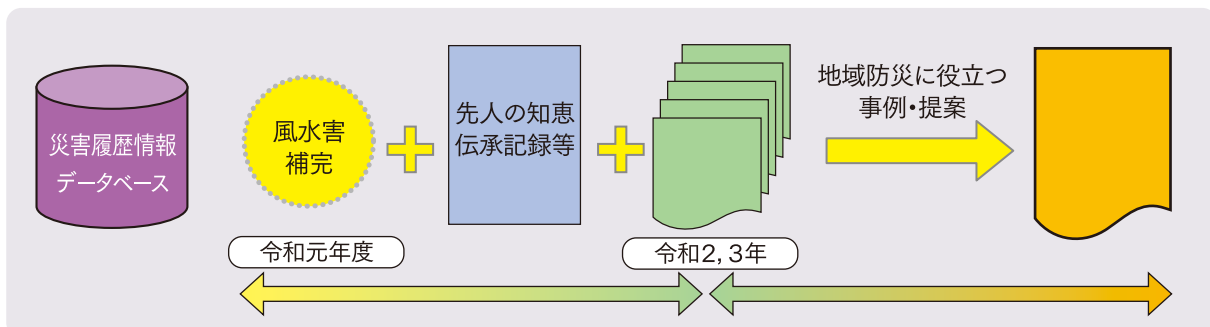


H29.7(朝倉市)被災直後 赤谷川・乙石川合流点



R1.8(武雄市)被災直後 六角川

報を活用した今後の防災まちづくりを提案し、その成果等について、当協会WEBサイト「九州災害履歴情報データベース」に反映する予定です。



調査研究

1、[趣 旨]

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズが多様化する中、適切な国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。

このため若手研究者の育成も兼ね、九州地区の大学・工業高等専門学校に対し、テーマを定めた募集を行い、調査研究に要する費用を助成しています。

2、[募集テーマ]

1)一般テーマ

土木技術全般に関わる新分野の取り組み等のハード及びソフト両面についての調査研究。

2)特定テーマ

①地域の活性化・再生

人口の減少、高齢化や産業の衰退などにより悩む地域の活性化、地域の自立を図る基盤整備、魅力ある観光地の創出、よりコンパクトな市街地への再生、コミュニティによる活力あるまちづくりなどが求められています。

そこで

- (1)社会的課題解決に向けた住民、NPO、大学、行政が連携して、取り組むまちづくり
- (2)観光などの産業振興や高齢社会を支援する社会資本づくりとそのあり方
- (3)地方創生、過疎地域の活性化対策

などの幅広い分野におけるハード及びソフト両面からの調査研究。

②インフラの老朽化対策及び生産性向上方策

政府は2013年を「社会資本メンテナンス元年」と位置づけ、これまでにインフラ長寿命化基本計画に基づき行動計画や具体的な点検・修繕計画を展開中です。

さらに国土交通省では、2016年を「※生産性革命元年」と位置付け、社会全体の生産性向上につながるストック効果の高いインフラ整備・活用や、関連産業の生産性向上、新市場の開拓を支える取組を加速化しています。

これらを踏まえたインフラの老朽化対策における堅実な取組み及び生産性向上方策の取組みに対するハード及びソフト両面からの調査研究。

※国土交通省HP

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000021.html

参照、「国土交通省生産性革命プロジェクト」にてパンフがダウンロード出来ます

③九州地域等における防災・減災対策

近年の激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、平成30年12月14日に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 ※」が閣議決定されており、九州地域等におけるハード対策及びソフト対策として社会インフラを預かる関係機関の備え方や市民への働きかけ、さらにはボランティアのあり方など、多くの切り口からの調査研究。

※ 国土交通省HP

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo01_hh_000028.html 参照

令和元年度 調査研究応募件数

1) 応募者別(特定テーマ/一般テーマ)

応募者	特定テーマ	一般テーマ	計
九州各県の国、公、私立各大学の研究者	13件	5件	18件
九州各県の工業高等専門学校の研究者	2件	0件	2件
計	15件	5件	20件

2) テーマ別応募件数

一般/特定	テーマ	件数
一般	土木技術全般に関わる新分野の取り組み等のハード及びソフト両面についての調査研究	5件
特定	九州地域等における防災・減災対策	10件
	地域の活性化・再生	1件
	インフラの老朽化対策及び生産性向上方策	4件
計	計	20件

令和元年度 調査研究決定者一覧表

番号	大学・高専名	研究課題名	研究テーマ	実施期間
			特定/一般	
1	九州大学大学院 工学研究院環境社会部門	河川計画と整合した流木対策のための 計画流木量設定法の開発	特定	令和元年6月15日～ 令和2年3月31日
2	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系	高力ワンスайдボルトを用いた当て板補修部の すべり後挙動の解明	特定	令和元年7月1日～ 令和2年3月31日
3	熊本大学大学院 先端科学研究部 社会基盤環境部門	高力ボルト接合を活用した既設鋼橋の 桁端部支点上構造の高機能化	特定	令和元年6月10日～ 令和2年3月31日
4	九州大学大学院 工学研究院社会基盤部門	鋼管杭と斜め鋼材を用いた地震時の 斜面防災対策に関する研究	特定	令和元年6月16日～ 令和2年3月31日
5	九州大学 工学部技術部	小径コアを用いた圧縮強度試験法の 社会実装に向けた検証実験	特定	令和元年6月10日～ 令和2年3月28日



●令和元年度 研究等助成審議委員会

応募された案件については、実現性や研究開発による効果等の観点から学識経験者、

有識者等で構成された審議委員会において審査を行い、助成対象者を選定します。



平成31年2月8日(金)
令和元年度研究等助成に関する募集要領及び募集テーマの説明



令和元年5月15日(水)
令和元年度研究等助成内容の選考検討等

●平成30年度 研究助成成果発表会 (令和元年10月21日(月))

平成15年度から研究助成事業を開始しましたが、研究助成成果発表会は昨年度に続き6回目の開催でした。



研究等助成報告会 理事長あいさつ



研究等助成報告会 研究助成の報告状況



講評／角 知憲
(研究等助成審議委員長)

本日、平成30年度の研究等助成事業の研究報告を4課題発表していただき誠に有り難う御座いました。今回の研究報告は、4課題とも非常に特色のある内容だったと思います。

①土木工学の範疇を超越した鋼部材の地際近傍における腐食センサの先鋭的な課題、②長崎特

有の斜面市街地における空き家問題という地域社会の切実な問題解決への取り組み、③不整形地盤における地震解析の新たな手法開発への挑戦、④多くのアンサンブル実験による統計学上、信頼性の高いデータ解析での水災害リスクの将来の降雨予測といったそれぞれの非常に興味深いものでした。

今回、若い研究者の方のやる気を感じる報告をうけ、今後もおおいにチャレンジしていただきたいと感じました。ありがとうございました。

人材育成

社会の国際化、情報化等に伴い、国民ニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。このため、河川、道路、環境、防災、構造物維持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、令和元年度は、下表の2大学、1法人に助成を行っています。

①民間法人“KABSE”が実施している学生研修会であり、実社会で活躍している技術者から学生に対し、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について紹介しています。

今年度は、「海外で働く技術者」や「維持管理」に的を絞った生の声を、年の近い若手・中堅技術者・女性技術者から聴講・討議できたことは、学生にとって大変有意義な研修会であったことが報告されています。

②今日、高度成長期に建設されたインフラが老朽化し、維持管理・長寿命化が喫緊の課題となっており、異状の早期発見と早期対策が必須

となっています。このため、若手建設業関係者を対象に「道守補助員コース」を開催し、インフラの維持管理に関心を持ってもらい、道守活動に参加してもらう人材を養成しようというものです。

今回参加した若手からは、市民がインフラを見守ることの重要性、見守る場合の留意点、道路異常通報システムの活用、道守制度の役割や重要性を良く理解することができた等の声が聞かれ、非常に貴重な体験であったことが報告されています。

③大学が西日本高速道路(株)九州支社(NEXCO西日本)と連携し、「橋梁構造物の現場点検と対策工法の立案」「大規模更新を想定したRC床板取替検討」等の体験を通して、高速道路業務の理解促進ならびに大学、NEXCOとの技術交流・情報交換を行うものです。

今回参加した学生からは、「講義に関しては非常に満足できるものだった」「高速道路や橋梁のことを良く知ることができた」「現場での学びがとても大きかった」「現場感を養うことができた」等の声が聞かれ、非常に有意義であったことが報告されています。

令和元年度 調査研究等助成申請 人材育成決定者一覧表

番号	大学・法人名	研究課題名	実施期間
①	一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)	九州・山口地区の大学・高専の若手人材ネットワークの育成を目指した道路や橋梁等構造物の維持管理の現状や将来展望に関する実践的な研修会	令和元年11月9日～ 令和元年11月9日
②	長崎大学大学院 工学研究科インフラ長寿命化センター	若手建設業関係者を対象とした道守補助員コースの開催と評価	令和元年7月1日～ 令和2年3月31日
③	九州大学大学院 工学研究院工学研究院附属 アジア防災研究センター	道路維持管理のためのエンジニアリング実践教室	令和元年8月6日～ 令和元年8月9日

3

支援事業 地域活性化等

●地域活性化等支援事業の一部を紹介

①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

川や道を舞台に愛護・啓発等の活動を行うとともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図る行政やNPO等諸団体の活動を支援しています。

令和元年度はNPO等の団体が活動主体となった3事業を支援しました。

第17回 和水平川舟ペーロン大会

和水平川舟ペーロン大会実行委員会

事業の内容

- 小学生の部・中学生の部・高校生の部・女性の部・分館の部・一般の部の6部門に分かれ、菊池川にて計24チーム329名が参加して川舟ペーロン大会を実施。

事業の効果

- より多くの方が菊池川に足を運び、川に親しむ機会を増やすことによって、町民の河川及び河川環境に関する意識を高めた。
- 地域ごとにチームを組み、力を合わせて大会に取り組むことで、地域の連帯感を強めた。



河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

事業の内容

- スカイフェスティバル開催
- 健康ウォーキング実施
- 「白川の日」河川敷清掃活動
- 水防災行事への参加
- どんどやの実施
- 小島公園桜管理

事業の効果

- 地域のイベントに白川河川敷を活用することにより、河川敷が地域住民の集う場であることを町民が認識、愛護意識が定着してきている。
- 4月開催のフェスティバルでは、地元小中学生、高校生のボランティア活動の場にもなっており、河川愛護の向上に役立っている。



②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場というイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて、河川環境保全の重要性を啓発する活動や河川をフィールドとして活動する人

材を育成しているNPO等やボランティア団体と地域の住民が連携する活動を支援しています。

令和元年度は、「川を体験する諸活動事業」や環境保全活動等の10事業を支援しました。

乙津川水辺の楽校事業

乙津川水辺の楽校運営協議会

事業の内容

- 乙津川周辺の土手や河川敷の清掃活動
- カヌー教室の開催
- 乙津川で遊ぼう共催
- つるさき環境フォーラム共催

事業の効果

- カヌー教室を通して、自然の中で遊ぶ感動体験により、子ども達の健全育成や親子の絆を強めるのに役立っている。
- 子ども達の水辺活動や環境学習の成果を3校の小学校の生徒が発表し、川の大切さやすばらしさを見つめ直す機会となった。



彦山川等河川環境保全活動事業

田川ふるさと川づくり交流会

事業の内容

- 定例会開催(毎月1回)
- ダカッパゼミ(防災と川を考える講演会)
- 現地見学会
- 花壇植栽及び維持管理
- ゲストティーチャー(田川市郡内10小学校へ出前講座)
- 清掃活動(毎月1回程度)

事業の効果

- 小学校を対象にした環境学習や出前講座では身近な彦山川の環境の現状を子ども達自らが肌で感じると共に、より良い河川環境を保つために日頃から川を大切にすることができた。
- 河川敷に整備した花壇が河川敷を散歩、利用する人々の目に触れることで、ゴミの不法投棄を抑制する環境をつくることができた。



ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

事業の内容

- 体験型学習支援と出前講座実施
- 川の安全教室(リバーズクール)開催
- 水辺の環境整備
- 人材育成(交流・WS等)

事業の効果

- 体験型の学習支援活動は高齢者の経験豊富な体験を子ども達に伝え、自然や郷土愛を育む大切な活動になっている。
- 「川の安全教室」の参加を他の団体に募ったところ、初めての地域、団体の参加が増え、交流の輪が広がった。



川を体験する諸活動事業

こうやま・川の少年団

事業の内容

- 海釣り体験、生き物調査
- バス研修(鶴田ダム見学会)(淡水魚水族館見学)
- 川遊び、キャンプ
- 河川敷清掃活動

事業の効果

- 参加者に公共事業の必要性について広く理解してもらった。
- 町内の川の水質状態が良くわかった。
- 異年齢集団で活動することによって、思いやりや助け合いの心を培った。



魅力あるふる里の川づくり

赤江未来の会

事業の内容

- 草刈り、ゴミ拾い活動
- 総合的な学習支援実施(北郷小学校4年生対象)
- 彼岸花植栽活動

事業の効果

- 美化活動による安全な散歩道に地域の住民から感謝の言葉をいただいている。
- 「発見!山崎川の自然環境」の活動を通して、子ども達にふる里への誇りと愛着が育まれた。
- 彼岸花植栽は中学校と地域とが連携することにより、ふる里の川づくりに貢献している。



多彩な河川体験や学習会を年間6回実施!

リバーチャレンジスクールは楽しく川に触れることを通じて、次世代を担う子ども達が河川をはじめ環境や災害に関心を持つことを目的に、遠賀川流域で年6回の活動を展開。①5月には遠賀川から花のプレゼント②7月には1泊2日の体験学校「サマースクール」③12月には流域の野鳥観察④1月には河川敷での凧揚げ⑤3月には菜の花染め⑥チューリップを描こう、など多彩な企画を実施。令和元年度は台風やウイルス感染の影響により、予定が変更となりました。20年を越える交流会の活動の成果として、スクールの卒業生が意欲的にサポートする体制が実現されており、協会からの支援はスクールの運営費用に使われ、気軽な参加を促すことに役立っています。



直方川づくり交流会
座長 野見山 ミチ子氏



③河川・道路等の愛護活動支援事業

川や道等を慈しみ住民参加型の維持管理(清掃・美化)を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上の寄与や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア活動(歩道清掃、

花壇の維持管理)の経費等を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。

令和元年度は清掃活動等90事業を支援しました。

ボランティア・サポート・プログラム (道路愛護活動)

道守くまもと県南会議

事業の内容

- 花壇づくり及び管理
- 花壇周辺道路の清掃活動

事業の効果

- 花壇を地域ボランティアの皆さんと一緒に管理することで、地域の皆さんの道路美化に対する関心が高まった。
- 道路清掃活動では、自分達の道は自分達で美しくするという自覚が生まれ、道に関する意識改革につながった。



道路愛護(花の苗)

多久市そうじの会

事業の内容

- 花壇への花植え
- 花壇周辺道路の清掃活動

事業の効果

- 当会と他団体との合同で清掃活動を行うことで、清掃する範囲が広がり、美化効果が上がった。
- この活動を行うことで、地域の美化意識が高まり、ゴミの減少につながった。



ボランティア・サポート・プログラム (220号清掃、植栽帯管理活動)

札元商工親睦会

事業の内容

- 歩道の美化清掃活動
- 植栽帯へのバラ植えと維持管理

事業の効果

- バラの花が地域住民やドライバーに好評を得ている。
- 除草作業へ家族ぐるみの参加があり、地域内のコミュニケーションの場になっている。
- 数社の企業が事業所前の除草作業を自発的に取り組み始めており、本件活動の輪も広がりをみせている。



ボランティア活動 (国道緑化、清掃活動)

天満スマイルクラブ

事業の内容

- 植栽帯やプランターへの花植管理(花植え、除草、灌水)
- 歩道の清掃活動及び花の種配布

事業の効果

- 他団体と合同で花植えや清掃を行っており、活動が強化されている。
- 当活動により、バスを待つ方々や通りすがりの方の癒しの空間になっている。



地域活性化等支援事業

けやき通り発展期成会

事業の内容

- 歩道の美化清掃
- けやきのライトアップ
- プランターへの花植・水やり
- 小学校への環境保全に関する授業
- 中学校との街路清掃

事業の効果

- 清掃の継続でゴミの少ない歩道が保たれた。
- 小学生には環境を考える授業を通して、当活動の意義を伝え、中学生には街路清掃を行うことで通りに対する愛着を醸成することができた。



ボランティア・サポート・プログラム (道路愛護活動)

久大生コン内環境美化委員会

事業の内容

- 道路の美化活動
- 道路周辺の除草及び花苗の手入れ

事業の効果

- 当活動により、社員や地域住民、道路利用者の美化意識が向上し、景観の美化維持につながった。
- 近所の方々より、「いつもきれいにしてくれている」との感謝の言葉をいただくようになった。



④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源(景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等)を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」の取組が管内

14ルートで展開しています。これらの活動を進める多様な主体(地域住民、NPO、町内会・自治会等)に対して、諸活動を支援しています。

令和元年度は10団体の活動を支援しました。

日本風景街道 「九州横断の道やまなみハイウェイ」

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

事業の内容

- 防火帯づくりと野焼きの実施
- 花植え・清掃活動

事業の効果

- 公益事業の助成を得て、ボランティアだけでは対応できないチェーンソーを使用する危険作業を実施することができ、野焼きを阻んでいた樹木の伐採・撤去を行うことで、野焼きの範囲を拡大、草原景観の復活に寄与した。
- 子ども達と一緒にしている花植え・清掃活動は、「自分たちの地域は自分たちで護ろう」とする気持ちを子ども達に持たせる良い影響を与えている。



地域資源を活かした広報活動及び 周遊ルート調査研究事業

唐津街道むなかた推進協議会

事業の内容

- 周遊ルート検討会議開催
- 周遊ルートマップ制作

事業の効果

- 周遊ルートの検討を通して、企業や観光施設などに風景街道の活動を知ってもらうことができた。
- 今までにない「周遊」という視点でルートマップを作成することで、新たな層に向けた情報発信ができた。
- 事業を実施したことにより、唐津街道の良さを地域住民が再認識し、街道に対する愛護思想がより強まった。



平成31年度 日豊海岸 花岬を結ぶ浦の細道& 渚の環境保全事業

日豊海岸シーニック・ハイウェイ研究会

事業の内容

- 景観の保全・回復・維持
 - 仙崎つつじ公園周辺の「てんぐ巣病」の除去
 - 下阿蘇ビーチの清掃活動(ゴミ拾い・雑草の除去)

事業の効果

- 当事業が人工減少・高齢化が進む地域にあって、来訪者との交流を図りながら地域に根付く産業や文化、景観を持続していこうとする取り組みの一助になっている。
- 地域の住民と会員が海岸をボランティアで清掃していることに触発され、他の団体や個人も延岡アースデイの日等に、ボランティア清掃を行ってくれるなど活動の輪が広がっている。



4

支援事業 防災活動等

防災活動等支援事業

九州防災エキスパート会活動支援事業

九州防災エキスパート会は、九州地方整備局OBで組織する災害支援ボランティア団体であり、令和元年12月現在の会員数は445名となっています。

これまで培ってきた防災の知識・技術を生かし、災害時には現場に出動して復旧工法の指導等を行うと

ともに、平常時には防災担当者や水防団などを対象に出前講座や水防工法の指導等を行っており、当協会は、これらの時代ニーズに即した防災活動を支援しています。

1. 令和元年度の災害と出動

—九州南部の大雨—

6月28日から7月4日にかけて、梅雨前線が九州に停滞し、鹿児島県で850ミリを超えるなど、九州南部で大雨特別警報が発表されるのではないかと報道されるような大雨になりました。

国道3号・10号鹿児島市、220号宮崎県日南市などで道路法面崩落が発生しました。

—佐賀・福岡・長崎県の大雨—

8月26日から28日にかけて、対馬海峡付近の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部で大雨特別警報が発表される大雨になりました。

河川関係では、一級河川のうち六角川・山国川・筑後川・矢部川・松浦川の5水系が氾濫危険水位を超過し、六角川(牛津川)、松浦川、筑後川(巨瀬川)

の3河川が氾濫しました。

特に六角川では、9箇所ですぐれ越水し、浸水面積約6,900ha、浸水家屋2,936戸の大規模な浸水被害が発生しました。

また、道路関係では、国道34号佐賀県武雄市、203号佐賀県多久市、209号福岡県筑後市などで土砂流出・冠水による通行止めが発生しました。

—相次ぐ台風—

千葉県に強風被害を及ぼした台風15号や、長野県・福島県など7県71河川140箇所ですぐれ堤防が決壊した台風19号など、首都圏近郊ですぐれ甚大な台風被害を受けました。

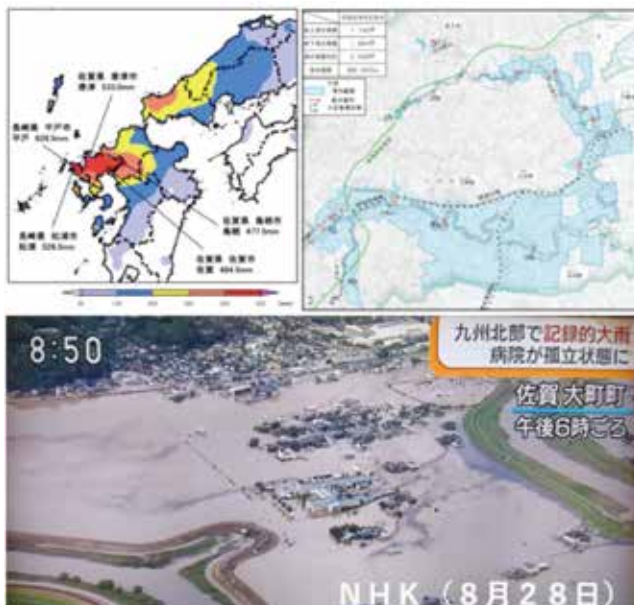
九州でも、五島・対馬に大雨特別警報が発表された台風5号、大分県南で大雨になった台風10号、高波で205号長崎県東彼杵町沿いのJR大村線が被害を受けた台風17号がありました。

これらの災害に対し、九州地方整備局から当会に災害対応の助言・復旧工法の指導などの出動要請があり、のべ55名の会員がこの活動に参加しました。

また、九州地方整備局・鹿屋市の依頼を受け、9月4日に本部会員と大隅支部より、鹿屋市の土砂崩落個所の復旧工法の指導を行いました。

地方自治体の直接的な指導にあたった初めてのケースです。

鹿屋市災害現場



2. 防災活動

九州地方整備局の本局・事務所で行われる水防演習・洪水対応演習・道路防災訓練・地震防災訓練・堤防合同巡視などに参加しました。

5月19日、熊本市で白川・緑川総合水防演習が開催され、熊本支部の会員が、水防団や学生の指導にあたるとともに、解説者席で水防工法の目的・効果などを説明しました。

また、本部において、適宜、防災課と意見交換を行うとともに、各地区においても、事務所との意見交換など、様々な活動を行いました。



3. 河川技術サポート会

「河川技術サポート会」は、会員が経験した技術力や判断力の継承により整備局の事業推進に寄与するため、当会の「河川分会」として発足させ、令和元年度は9事務所[武雄(佐賀庁舎)、長崎、菊池川、熊本復興、川辺川ダム、大分、佐伯、川内川、筑後川ダム統管]で様々な活動を行いました。

● 武雄河川事務所(佐賀庁舎)

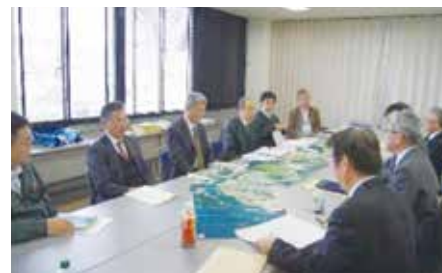
佐賀導水事業の①利水運用、②渇水時の不特定運用、③浄化水の運用について、現地視察を行い、現在の取り組み、今後の運用について意見交換を行いました。



武雄河川事務所(佐賀庁舎)



熊本復興事務所現場



佐伯河川国道事務所

● 熊本復興事務所

熊本地震に起因して土砂災害の危険性が高まっている阿蘇地域の直轄砂防事業について、実施上の懸案事項の解決に向け、現地で若手職員と意見交換し砂防経験者として助言を行いました。

● 佐伯河川国道事務所

番匠川は、平成29年9月(台風18号)洪水で既往最大流量を超過したため、河川整備計画の変更に係る検討状況や内容について説明を受け、今後の進め方等について意見交換を行いました。

4. 道路技術サポート会

上記の「河川技術サポート会」と同じ主旨により、令和元年度、「道路技術サポート会」を発足させ、「技術の伝承」として4事務所(熊本、八代、大分、宮崎)で活動しました。

● 宮崎河川国道事務所:「宮崎の地質勉強会」

発注者として必要な知識概要について、まず日本列島のおいたちから説明し、更に宮崎県内に特化した

地質の堆積環境の違いなども講義しました。

(講話時間：
約2時間/回)



宮崎河川国道事務所

■ 災害ボランティア活動等支援事業

災害時におけるNPOや市民団体等のボランティア活動や復旧活動に必要な装備品の支援を行うとともに、平常時における住民の防災意識の啓発・高揚に向けた講習会、訓練等の活動についても支援を行っています。

令和元年度においては、「令和元年8月の前線に伴う大雨」による佐賀県、福岡県の被災地

においてボランティア活動を行った以下の九州内4団体に対して支援を行いました。

1	ネイチャーなかがわ	代表 樫本 攻
2	SSJ佐賀 (Seeding Support of Japan)	代表 石田 勇以
3	ロハス南阿蘇たすけあい	代表 井出 順二
4	ALL救衆	代表 橋本 航

● SSJ佐賀

佐賀県を拠点に災害支援を行っており、平成28年の熊本地震を機に団体を設立し、「1日でも早く元の生活に戻れるように」をモットーとし、現在、佐賀大の学生と社会人合わせて約30名が在籍しており、全国

各地の被災地を支援するなど、若いパワーを生かした活動を展開しています。

今回の活動は、佐賀市金立町での土砂撤去作業や大町町での家財洗浄などでした。



土のうによる土砂撤去作業



家財洗浄

● ロハス南熊本たすけあい

当団体は重機を用いたボランティア活動を中心にっており、平成28年の熊本地震で多くの方に支援頂き、少しでもお返しをしたいという想いから、災害支援活動を開始しています。

今回の活動は、武雄市の北方町、朝日町、竹内町において、重機を使っての土砂撤去作業や災害ゴミの搬出・運搬作業などでした。



バキューム車による土砂水吸入



バックホウによる災害ゴミの搬出



バックホウによる災害ゴミの搬出



土のうによる土砂運搬

●地盤防災減災に関する技術フォーラム

アジア諸国と日本国内の災害事例及び対策・技術に関する情報を学ぶ目的で、令和元年11月13日～

15日、熊本市開催の当フォーラムを支援しました。



特別講演



ディスカッションセッション

◆平成28年熊本地震や平成29年九州北部豪雨災害に対し、被災地への支援物資の提供や迅速な災害復旧への初動支援など、当協会の復旧・復興に向けた継続的な支援活動等が以下のとおり評価されました。

●朝倉市より感謝状

令和元年11月11日、朝倉市の林市長より、平成29年九州北部豪雨災害の復旧・復興などに貢献したとして感謝状を頂きました。



市長との記念写真



●全国防災協会より表彰状

令和元年11月5日、全国防災協会より、平成29年九州北部豪雨災害において、朝倉市への災害復旧までの初動支援や災害記録誌作成等の取り組みに対して表彰状を頂きました。



災害復旧促進全国大会



広報活動支援事業

海の中道「フラワーピクニック2019」

海の中道フラワーピクニック実行委員会

P6

多様な道路空間の利用～緑を活用した安全・安心の国体道路～
特定非営利活動法人 はかた夢松原の会

道守活動

道守大川ネットワーク

道守活動

道守柳川ネットワーク

道守体験事業

道守佐賀会議

P7

道守九州会議 交流会「みちづくしin佐世保2019」

特定非営利活動法人 道守長崎

P6

道守体験

道守くまもと会議

平成31年度 宮崎県内道守活動支援事業

道守みやざき会議

道守かごしま座談会・研修会(道守かごしま会議)事業

道守かごしま会議

土木の日 熊本行事

「土木の日」熊本実行委員会

宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

P6

第33回 宮崎「橋の日」イベント

宮崎「橋の日」実行委員会

ZOOM UP P8

第9回 日南「橋の日」イベント

日南「橋の日」実行委員会

第19回九州「川」のワークショップ in さが

第19回九州「川」のワークショップ in さが実行委員会

九州建設技術フォーラム2019

九州建設技術フォーラム実行委員会

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム

P7

平成31年度「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部

P8

I LOVE 遠賀川活動

NPO法人 遠賀川流域住民の会

P7

ハイウェイネットワーク2019

神話トライネット

P8

地域活性化等支援事業一覧

① 河川・道路に関する地域活性化活動

第17回和水川舟ペーロン大会

和水川舟ペーロン大会実行委員会

P19

河川愛護活動

白川の清流と緑を守る会

河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

P19

② 環境(体験学習を含む)保全活動等

鮭稚魚のふ化・育成・放流活動

遠賀川源流サケの会

リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

ZOOM UP P21

彦山川等河川環境保全活動事業

田川ふるさと川づくり交流会

P20

アザメの瀬閑連事業

特定非営利活動法人 アザメの会

ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

P20

本明川魚つかみ取り大会事業

諫早市天満町自治会

乙津川水辺の楽校事業

乙津川水辺の楽校運営協議会

P20

ラブリバー団体支援

始良川河川愛護会

川を体験する諸活動事業

こうやま・川の少年団

P21

魅力あるふる里の川づくり

赤江未来の会

P21

③ 河川・道路等の愛護活動

ボランティア・サポート・プログラム(208号清掃、花壇管理事業)

玉東町区会

町内美化活動・花植栽

高坊二丁目南町内会

ボランティア・サポート・プログラム(道路美化)

道守くまもと県央会議

ボランティア長崎

ロード・スターズ

国道201号線見立入口交差点及び周辺の美化と清掃事業

谷口グループ協力会 松和会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

稲佐地区会

ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

瀬見小学校校区町内連絡会

ボランティア活動(清掃)

共新D

一般国道10号北九州小倉南区湯川新町地区花だん管理道路

美化清掃ボランティア事業

花と緑の会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア活動(清掃)

クローバー・ロード清掃隊

国道3号線除草及び維持管理

(株)九州緑化建設

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

道守くまもと県北会議

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

道守くまもと県南会議

P22

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

旭建設株式会社

地域活性化等支援事業

豊友会

国道10号線清掃美化活動

生石港町港友会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

栄門通り会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

北草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム

(3号、10号、58号、225号歩道等清掃)

鹿温会ボランティア・グループ

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

平山お達者レディスクラブ

旧市花壇サポートクラブ

旧市花壇サポートクラブ

喜入まちづくりグループ

喜入まちづくりグループ

令和元年度公益目的支援事業

新町長寿会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

特定非営利活動法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)

麦生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
都城市市役所10号線通り会②

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
内海地区自治会・公民館

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
日南海岸コバノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
日南チョウザメ養殖場(株)

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
富士区

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
鶴戸山をかつとしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
社会福祉法人つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
小吹毛井区福祉推進会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
小目井花いっぱいし隊

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
宮浦220号線花の愛好会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
霧島会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
島山花いっぱい地域づくりの会

不知火町公民館 国道208号道路愛護・地域活性化等活動
不知火町公民館

ボランティア長崎
九州ガス(株)大村支店

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
株式会社森工業

環境美化運動
大津町商工会女性部

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
八嘉校区まちづくり委員会

道路愛護活動支援事業
基山会

道路愛護(花の苗)
多久市そうじの会

P22

道路愛護
有明の海を守るふれあいの会

道路愛護
環境を守る会

ボランティア・サポート・プログラム
(220号清掃、植栽帯管理活動)
郷之原夢築づくり協議会

ボランティア・サポート・プログラム
(220号清掃、植栽帯管理活動)
札元商工親睦会

P22

ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)
天満スマイルクラブ

P23

柏の森テナント会 清掃活動
柏の森テナント会

ボランティア長崎
竹友会

地域活性化等支援事業
けやき通り発展期成会

P23

4町内環境美化委員会 国道208号道路愛護・地域活性化等
4町内環境美化委員会

大牟田市市民憲章推進委員会 国道208号街路美化
大牟田市市民憲章推進委員会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
久大生コン内環境美化委員会

P23

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
吉井コスモス街道

地域活性化等支援事業
ごみゼロ青春探検隊いとしま

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
たんばほの会

浄真昭和町公民館国道208号道路愛護・地域活性化活動
浄真昭和町公民館

ローズマリーの会 ふれあい花壇づくり
ローズマリーの会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
野多目大橋花クラブ

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
双葉工業株式会社

ボランティア・サポート・プログラム
(210号歩道等清掃緑化活動)
川原町老人クラブ

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会

ボランティア活動(清掃)
クリーン&グリーン推進隊

ボランティア・サポート・プログラム
(220号清掃、植栽帯管理活動)
柘原地区振興会

日置市高齢者クラブ連合会 共新クラブ活動
日置市高齢者クラブ連合会 共新クラブ

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
御陵下地区環境美化グループ

国道34号佐賀地区道路美化活動
葉隠会道守部会

道路清掃及び美化活動を目的とした地域女性活動の活性化事業
江北町女性ネットワークの会

河頭町内会活動
河頭町内会

国道10号線道守花壇(別府市上人ヶ浜)活動
別府市上人ヶ浜町自治会

国道10号線 西生石地区 道路清掃美化活動
西生石自治会

国道208号道路愛護・地域活性化活動
道守おおむたネットワーク

国道220号 垂水荒崎パーキング清掃他活動
たるみず折鶴

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
株式会社アルファ

門司港地域における環境美化、整備、維持管理事業
NPO法人 門司港レトロ花の会

福国・橋守マイスター会活動
福国・橋守マイスター会

ボランティア・サポート・プログラム(道路愛護活動)
日南市立鶴戸小中学校

本明川河川敷における花の植栽
特定非営利活動法人 拓生会

花いっぱい活動及び清掃活動(河川)
津留地区ふるさとづくり推進協議会

花線柳河原川クリーン作戦
花線自治公民館

本明川河川敷における環境保全活動(花の植栽)
黒崎干陸地を守る会

④地域資源の活用による地域活性化活動

みどりの里・耳納風景街道PR事業
みどりの里・耳納風景街道推進協議会

日本風景街道「豊の国歴史ロマン街道」
豊の国風景街道推進協議会

平成31年度 玄界灘風景街道
玄界灘風景街道パートナーシップ推進会議

美しい風景づくり
九州風景街道「阿蘇くまもと路」

サイクル観光連携事業
日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道推進協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」
九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

P24

平成31年度 日豊海岸 花罌を結ぶ浦の細道&渚の環境保全事業
日豊海岸シーニック・ハイウェイ研究会

P24

かごしま風景街道バスツアー
かごしま風景街道

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業
ながさきサンセットロード振興会

地域資源を活かした広報活動及び周遊ルート調査研究事業
唐津街道むなかた推進協議会

P24

公益目的事業報告書

発行日／令和2年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5-19(サンライフ第3ビル4F)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<http://www.qscpuu.or.jp/>